

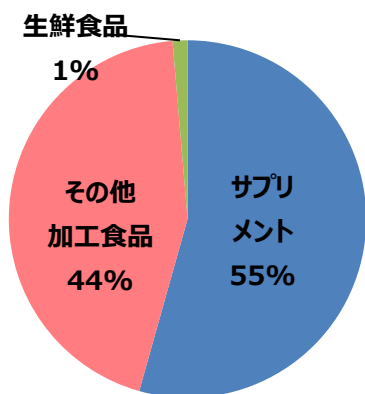
当社では、機能性表示食品制度の運用状況を調査し、同制度の今後の可能性を模索すべく、運用が開始された本年4月から11月末までの届出状況を多角的に分析した。

※ データはすべて消費者庁ホームページの公開情報を基にしている。

◆ 2015年11月末時点での届出商品内訳

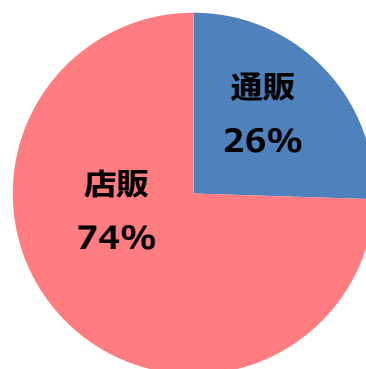
- ・2015年11月末時点での届出受理商材総数は149。
- ・サプリメント形態の商品が全体の約半数を占め、その他加工食品形態を10ポイント上回る。
- ・制度開始時、注目された生鮮食品の届出は2商品に留まる。
- ・店舗販売を主とする商品数が、通販商品の約3倍。

商品形態



商品数	
サプリメント	81
その他加工食品	66
生鮮食品	2

販売形態



商品数	
通販	38
店販	111

※ 分類は、主たる販売チャネルが通販・店販いずれであるかの判断によって行った。

届出商材の商品形態内訳では、サプリメント形態が全体の半数を超える。その他加工食品は大半が飲料であるが、缶詰・レトルト食品等飲料以外にも様々な形態の食品が現れつつある。一方、制度導入にあたって注目された生鮮食品の届出は未だ2商品に留まる。

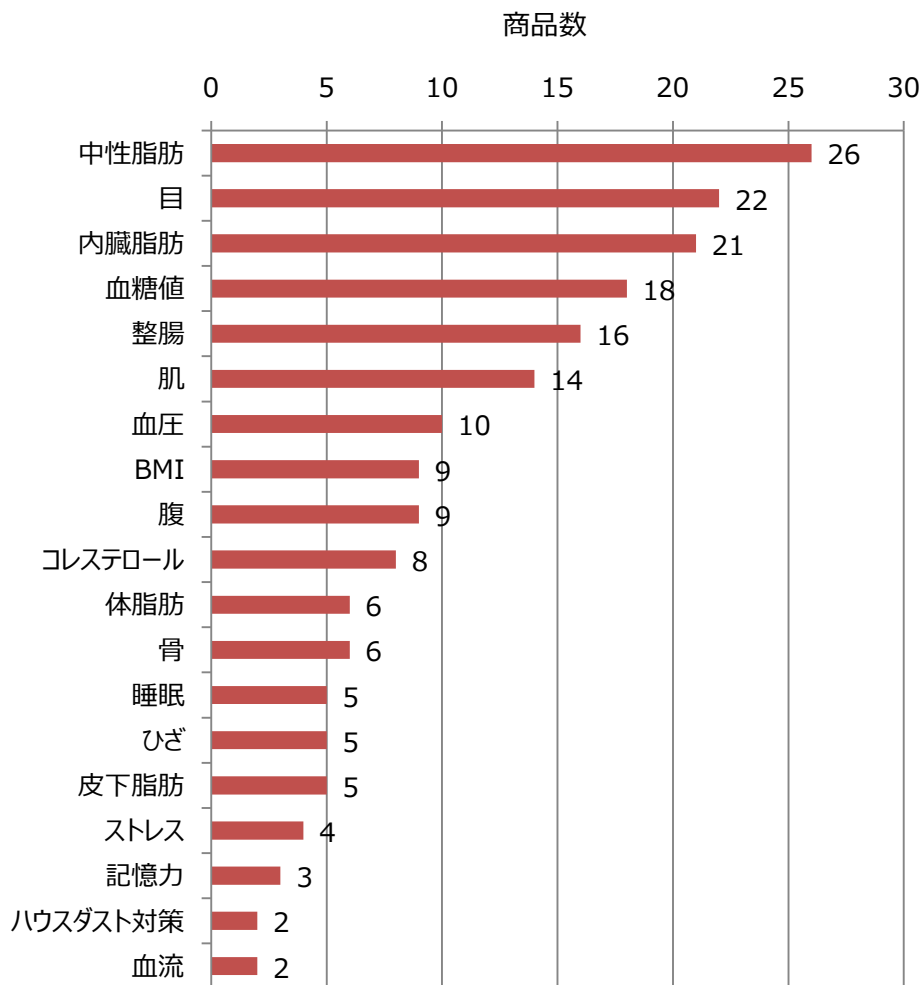
通販商品と店販商品の割合はおよそ1:3であり、通販商品のほとんどをサプリメント形態の商品が占める。ただしサプリメント形態の商品であっても、同系列商品を新制度開始前から通販を主なチャネルとして販売していない限りは、店販をメインに行っている例が多い。そのため、現状では店販商品数が通販商品数を大きく上回っている。

一方で、ドラッグストア等販売店舗からは、機能性表示食品は未だに商品数が限られているため、専用コーナーを設けることができず、「機能性表示食品」であることを有効にアピールできていないのではないかと声も聞かれる。

◆ 届出商品について謳われている訴求ポイント

※ 「中性脂肪」「目」「血糖値」などの各訴求ポイントに対し、その訴求を行っている商材数を調査した。
(1商品で複数の訴求ポイントがある場合、各々別にカウントしている。)

- ・届出商品の訴求ポイントで多く見られるのが中性脂肪訴求・内臓脂肪訴求・アイケア訴求。
- ・特定部位への訴求、また従来は見られなかった機能性への訴求の伸びが注目される。



機能性表示食品に多く見られるのは、中性脂肪・内臓脂肪・血糖値・BMI など生活習慣病系訴求を行う商品である。

これらに加えて、機能性表示食品制度によって新たに認められることとなった「特定部位へ訴求」も目立つ。特定保健用食品においては、特定部位への訴求は、歯・骨・腹についてのみ許可がなされていた。しかしこの度の新制度においては、「目」「肌」「ひざ」等の部位への訴求を行う商品が数多く表れている。

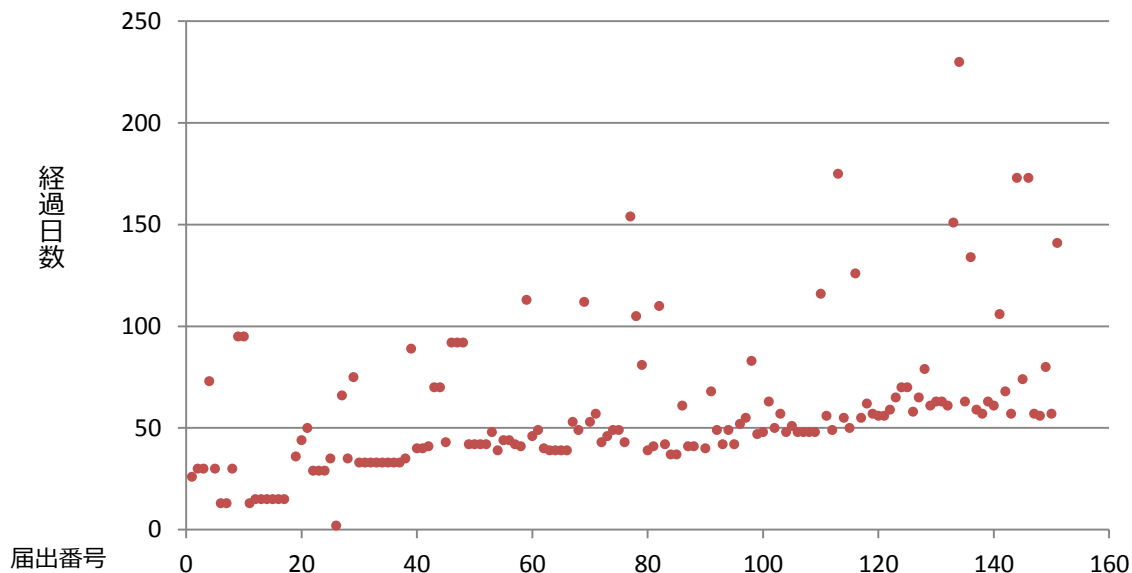
さらに、「疲労」「ストレス」といった新ジャンルの機能性訴求を行う商品も現れてきている。

訴求できるジャンルが広がったとはいえ、表現可能な機能性の範囲は、「健康の維持・増進」に対する表現までである。疾病に対する効果や、「抗シワ」「育毛」などの「改造」を謳うものは認められない。特定部位への訴求など、訴求内容の自由度が上がった分、「健康の維持・増進」の範囲内にあるかどうかは、商品ごとにいっそう慎重に検討していく必要がある。

◆ 届出に要する期間の推移（推定）

※ 届出内容中に記載のある「資料作成日」から、消費者庁のホームページにて情報公開が開始された日までの日数

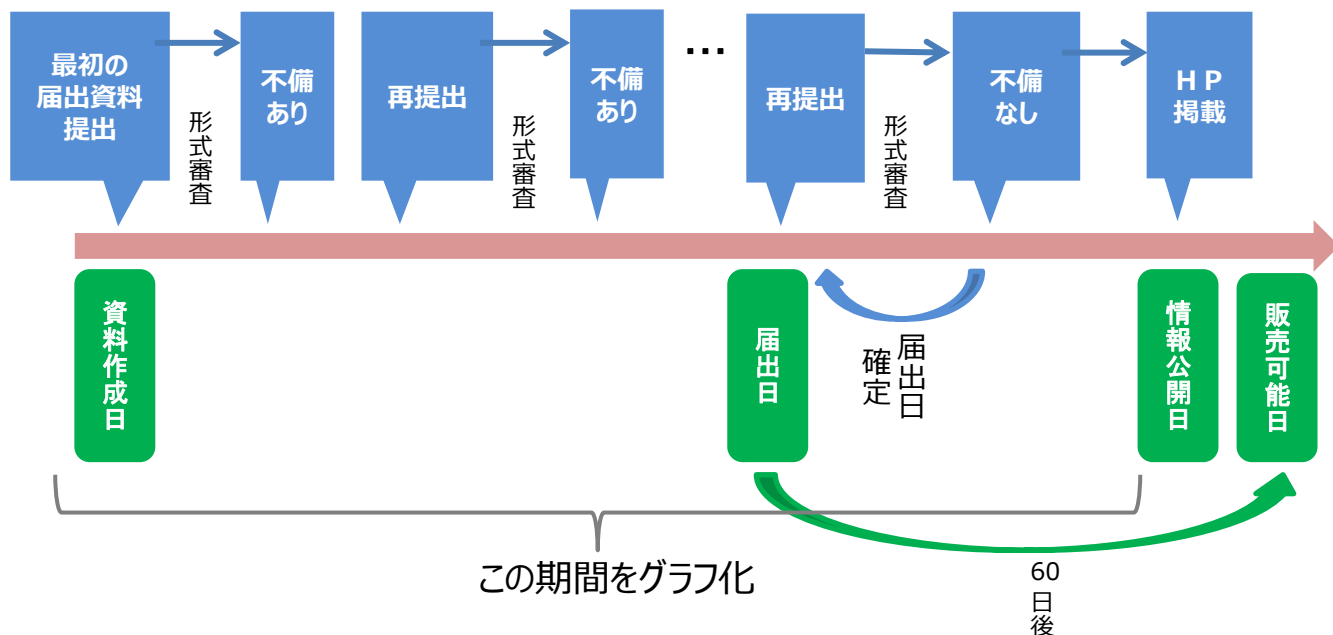
- ・届出資料を最初に提出した日から、届出が完了するまでにかかる日数をグラフ化。
- ・商品届出によって差はあるものの、おおむね番号が大きくなるほど、期間が長くなる傾向がある。



届出が受理された商材について、届出内容中に記載のある「資料作成日」から、消費者庁のホームページにて情報公開が開始された日までの日数を商品ごとに算出し、届出番号順に並べたのが上記グラフである。

ここでは、「資料作成日」を、届出者が消費者庁に最初の届出を行った日としている。また、消費者庁が届出資料の形式審査を終え、これを受理し、届出日を確認する日から、消費者庁ホームページに当該情報を掲載する日にラグがないと想定する。これにより、両日付の間にかかる日数を算出することで、消費者庁が届出者から届出書類を最初に受け取ってから、形式審査通過と認めるまでの日数を知ることができる。

グラフに依れば、この日数は商品により差はあるものの、直近に至るにしたがって徐々に長くなる傾向があることがわかる。現状では初回の資料提出から60日前後でホームページ上での公開となるケースが多いようである。



機能性表示食品 届出表示文言分析

2015.12.●

当社では、機能性表示食品の効果的な広告ノウハウ構築の素地とすべく、届出が行われた商品について、その「届出表示」の文言を分析した。

分析は、同一機能性関与成分に対する届出表示や広告表現の差異を検証することにより行った。

検証対象としたのは、対脂肪訴求商品に多く見られた「難消化性デキストリン（食物繊維）」、及びアイケア訴求商品に多く見られた「ルテイン」の2成分である。

◆ 難消化性デキストリン（食物繊維）の届出表示分析

・細かな文言表現には慎重さが必要

▼ 難消化性デキストリン（食物繊維）を機能性成分とする届出（一部）

商品	届出者	届出表示
① パーフェクトフリー	麒麟麦酒株式会社	本品には難消化性デキストリン（食物繊維）が含まれます。
		難消化性デキストリンは、 食事から摂取した脂肪の吸収を抑えて排出を増加させる とともに、 糖の吸収をおだやかにするため、食後の血中中性脂肪や血糖値の上昇をおだやかにする ことが報告されています。
		本品は、 脂肪の多い食事を摂りがちな方や食後の血糖値が気になる方 に適しています。
② アサヒスタイルバランスレモンソーテイス	アサヒビール株式会社	本品には難消化性デキストリン（食物繊維）が含まれます。
		難消化性デキストリン（食物繊維）には 食事の脂肪や糖分の吸収を抑える機能がある ことが報告されています。
③ お〜いお茶 日本のお茶 健康玄米茶	株式会社伊藤園	本品には難消化性デキストリン（食物繊維）が含まれます。
		難消化性デキストリン（食物繊維）には、 おなかの調子を整える 機能と、 食事から摂取した脂肪の吸収を抑えて、食後の中性脂肪の上昇を抑える 機能があることが報告されています。
④ 脂肪と糖が気になる方の青汁T	株式会社東洋新薬	本品には、難消化性デキストリン（食物繊維）が含まれます。
		難消化性デキストリン（食物繊維）には、 食事に含まれる脂肪と糖に働き、食後に上がる中性脂肪と血糖値を抑える 作用が報告されています。
		脂肪や糖の多い食事を摂りがちな方、食後に上がる中性脂肪や血糖値が気になる方 に適した食品です。

難消化性デキストリンを機能性関与成分とする商材は、既に17品が機能性表示食品として受理されている。「本品は、難消化性デキストリン（食物繊維）が含まれます」は全商材共通だが、それ以下は表のように差がある。この4商品の届出表示を要素分解すると、

①	食事から摂取した	脂肪の	吸収を	抑える
	食事から摂取した	脂肪の	排出を	増加させる
	食事から摂取した	糖の	吸収を	おだやかにする
	食後の	血中中性脂肪の	上昇を	おだやかにする
	食後の	血糖値の	上昇を	おだやかにする
②	食事の	脂肪の	吸収を	抑える
	食事の	糖分の	吸収を	抑える
③	-	おなかの	調子を	整える
	食事から摂取した	脂肪の	吸収を	抑える
	食後の	中性脂肪の	上昇を	抑える
④	食事に含まれる	脂肪に	-	働き
	食事に含まれる	糖に	-	働き
	食後に	上がる	中性脂肪を	抑える
	食後に	上がる	血糖値を	抑える

となり、同じ成分についての届出表示でも細かな差異がみられる。

この差異により、この各々のパッケージで謳われるメインコピーは

- ① 食事の脂肪の吸収を抑える 食事の糖分の吸収を抑える
- ② 脂肪の吸収を抑える 糖の吸収をおだやかにする
- ③ 1. おなかの調子を整える 2. 脂肪の吸収を抑える
- ④ 脂肪と糖に働く

となっており、それぞれ文言が少しずつ異なる。

広告制作にあたっては、届出表示の内容を超えることはできないため、細かな表現の差に留意せねばならない。例えば脂肪の吸収を「抑える」と「おだやかにする」とでは、表現の強さに違いがあるため、安易な言い換えをすることはできない。届出表示の拘束を受ける以上、文言の選定には慎重さが求められるであろう。

◆ ルテインの届出表示分析

・届出表示の縛りが効果的な広告表現を困難にする場合も

▼ルテインを機能性成分とする届出（一部）

商品	届出者	届出表示
①めばえ	八幡物産株式会社	本品にはルテインが含まれます。
		ルテインには 目の黄斑部の色素量を維持する働きがあり、ブルーライトなど光の刺激からの保護や、コントラスト感度の改善 によって、 目の調子を整える 機能があることが報告されています。
②ネイチャーメイドルテイン	大塚製薬株式会社	本品にはルテインが含まれます。 ルテインは、 目のコントラスト感度（色の濃さの判別力）をサポート することが報告されています。
③ルテイン	小林製薬株式会社	本品にはルテインが含まれます。 ルテインは 網膜の黄斑色素密度を増やし、目の黄斑部の健康を維持 することが報告されています。
④ルテインa	小林製薬株式会社	本品にはルテインが含まれます。 ルテインには、 目の黄斑部の色素量を増やすこと、コントラスト感度を正常に保ち視覚機能を維持 ことが報告されています。
⑤ディアナチュロゴールドルテイン	アサヒフードアンドヘルスケア株式会社	本品にはルテインが含まれます。
		ルテインは 眼の黄斑部の色素量を維持する働きがあり、ブルーライトなど光の刺激からの保護や、コントラスト感度の改善 によって、 見る力※を維持 することが報告されています。 ※見る力とは視覚機能（色の濃淡を判別する力及びまぶしい光の中でもクリアにものを見る力）のことです。
⑥メラクス	八幡物産株式会社	本品にはルテインが含まれます。
		ルテインには 目の黄斑部の色素量を維持する働きがあり、ブルーライトなど光の刺激からの保護や、コントラスト感度の改善（ぼやけの解消） によって、 目の調子を整える 機能があることが報告されています。
⑦えがのルテイン	株式会社えがの	本品には、ルテインが含まれます。
		ルテインは、 網膜中心部の色素量を増やす働きがあり、日常生活で受ける光の刺激から目を保護し、目の健康を維持 ことが報告されています。
⑧特濃ミルク8.2カボチャミルク	味覚糖株式会社	本品にはルテインが含まれます。
		ルテインは 長時間のコンピューター作業などによって低下したコントラスト感度（色の濃淡を判別する力）を改善 することが報告されています。

ルテインについては、既に15件の届出がなされている。一部について、以下に届出表示の要素分析を行った。

	届出表示の大きな要素	パッケージの主なコピー
①	目の黄斑部の色素量を維持する	なし
	ブルーライトなど光の刺激からの保護	
	コントラスト感度の改善	
	目の調子を整える	
②	目のコントラスト感度（色の濃さの判別力）をサポートする	色の濃さの判別力をサポート
③	網膜の黄斑色素密度を増やし	目の黄斑部の健康が気になる方に
	目の黄斑部の健康を維持する	
④	目の黄斑部の色素量を増やす	視覚機能を維持する・くっきり鮮やかな視界に
	コントラスト感度を正常に保ち視覚機能を維持する	
⑤	眼の黄斑部の色素量を維持する	見る力を維持
	ブルーライトなど光の刺激からの保護	
⑥	コントラスト感度の改善	目の調子を整える
	見る力※を維持 ※見る力とは視覚機能（色の濃淡を判別する力及びまぶしい光の中でもクリアにものを見る力）のことです。	
⑦	目の黄斑部の色素量を維持する	目の健康を維持する
	ブルーライトなど光の刺激からの保護	
	コントラスト感度の改善（ぼやけの解消）	
⑧	目の調子を整える	目の健康を維持する
	網膜中心部の色素量を増やす	
⑦	日常生活で受ける光の刺激から目を保護	目の健康を維持する
	目の健康を維持する	
⑧	長時間のコンピューター作業などによって低下した	コンピューター作業の多い方に
	コントラスト感度（色の濃淡を判別する力）を改善	

前頁の難消化性デキストリンよりも、届出表示内容の差が大きく、パッケージに謳われるコピーも多様である。

機能性表示制度では、届出表示における機能性関与成分や訴求ポイント以外を強く押し出すことはできないため、届出をすることによって、届出前よりも表現の幅を狭めてしまい、逆に効果的な表現が難しくなる可能性がある。

ルテインについても、届出内容に縛られることでコピーが限定的な表現になりすぎ、消費者に刺さらないものになってしまう危険性がある点に留意すべきであろう。